

第5回 福祉の仕事を知るための

見学バスツアー



一宮市障害者自立支援協議会生活支援部会

10月4日(木)第5回「福祉の仕事を知るための見学バスツアー」を開催しました。

福祉サービスを利用している人たちや、福祉の現場で働く人たちから魅力を伝えてもらい、参加者に「自分も何かやってみたい」と思えるきっかけを作りたいとの想いで年に2回実施しているバスツアーです。

今回の参加者は23名、生活支援部会14名、総勢37名のツアーとなりました。



1. わがんせ



今年6月にオープンしたばかりで、店頭には種類も多くお手頃な価格の焼きたてパンが並んでいました。お会計待ちのお客さんが長い行列となっており大人気の様子がうかがえました。昼食のお弁当は“超スペシャルデラックス”なボリュームと豪華な内容となっており、話題となっていました！！とってもおいしかったです

2. さつきの家・かえでの家

障害にあわせた工夫が随所にしてありました。食卓テーブルは車いすの高さにあった利用ができるように昇降可能となっていたり、入浴時に使用できる天井走行リフトなどがありました。リフトは体験もさせていただきました！介助者も負担が少なく、利用者の方も安心・安全に利用できるとのことでした



3. みんなの家



日中の過ごし方は、音楽を聞いたり絵を描いたり好きな事に取り組めます。パズルをされていた方の手は動きませんが、他の利用者の方とペアになり目で合図したピースをはめて作品を完成させている方もみえました。また、短期入所の居室には、「ナースコール」が障害にあわせた形となっており、個々の対応に配慮できる態勢となっていました。

4. テラスノア・ケアホームノア



障害を持たれた方が生活しやすいよう、住宅改修などで個々に必要な工夫をされていました。トイレの便座が生活スペースのフローリングの一角にそのまま設置され、自力での排泄が可能になっていたり、普段から利用者の方の希望や不便さの声を聞き逃さないようまた、動作の観察にも注意を払うよう心がけが重要だと感じました。

5. はぎわら生活介護センター

広々とした明るい空間で、ゆったりとした時間を過ごせる環境です。機械浴の入浴の利用が可能で、介助負担が大きい入浴を利用目的としている方もみえます。隣の老人福祉センター（60歳以上）では、市内では1番広いという事もあり無料の銭湯だけでも1日130人の方が利用されているようです。



6. 樫の木作業所・ヘルパーの仕事紹介



クッキーやゼリーの販売をされていました！販売スペースも一室あり、身近な駄菓子屋さんとなっています。個々にあわせた作業スペースが考えられ、皆さん生き生きと取り組まれていました。ヘルパーさんのお仕事紹介では、施設や作業所での支援とは少し違い、利用者の方の歩んだ歴史を大事に支援に入っているそうです。

参加者の声

- 「時間が少なくて聞けないところがありました。」
- 「お弁当がとても立派でお腹いっぱいになりました。」
- 「色々なサービスや方針のもとに様々な事業所があることを知りました。」
- 「たくさんの事業所を見学できて、内容の濃い1日となりとても勉強になりました。」
- 「見学したい思いはあったが一人で行動するのは大変だったので、良い機会でした。」
- 「様々な法人スタッフの方がいて、もっとお話を聞けたらおもしろそうだと思います。」
- 「わがんせ」のような事業所が、市の中心部にあれば、もっと使用しやすいのになあと感じました。」



138-に参加して施設見学、サポートができました。